

### 第3回 技術開発推進専門部会 議事録(案)

日時:2004年6月21日(月)14:00~18:30

場所:海洋研究開発機構東京事務所セミナー室

出席者(敬称略)

(部会員)木下正高、遠藤立樹、唐澤廣和、許正憲、佐野修、手塚和彦、中田春弥

(TAP委員)増田昌敬、新井雄正、鎌田正博

(ILP委員)青木和弘

(リエゾン等)伊藤久男(J-DESC執行部;SPC委員)、齋藤実篤(J-DESC)、小菅 石川 、真砂

(以上JAMSTEC/CDEX)、笹山 (OD推進室)、山川稔(AESTO;事務局)

(欠席部会員等)市川祐一郎、荒戸裕之、佐藤宗純、篠原雅尚、高橋亨、福井学、鈴木英之(TAP委員)

議事次第

[第2回議事録の確認]

荒戸委員をはじめ、ILP委員が出席していないため、最終確認がとれなかったこと、および公開するための表記の調整が済んでいないため、速やかにこれを行って部会員の承認を得ることで承諾された。

[部会員の交代]

高橋部会員の国外転勤に伴い、同社の斉藤秀樹氏に交代することが要請され、承認された。

[報告事項]

(1)J-DESCの活動報告(齋藤)

J-DESCの役割が改めて示された。また五大ニュースとして、2003年10月のIODP発足、2004年2月のJ-DESC発足1周年、2004年4月の陸上掘削部会発足、2004年6月のJ-DESC新会長就任(AIST石原舜三氏)、2004年6月のIODP Expeditionの開始、があげられた。

(Q)科学者からIOへの窓口はどこか？

(A)CDEXはJ-DESC、JOI-AはUSSAC、MSPIはESOがそれぞれ担当、互いに仲介する。

(Q)オペレーションに関するレビューはどこで行うのか？ TAPでやるのか？

(A)Project Management WGで議論されている。ODPではTEDCOMで行っていた。

(2)CDEX報告(真砂)

慣熟航海(下北沖、2005年5月開始予定)、IMS(情報管理システム)、ちきゅうの「納品」(2005年4月)等について説明があった。この中で、慣熟航海に乗船する可能性、そして慣熟航海への提言を、本部会で行ってゆきたい由、部会長より提案された。それに対し、CDEXから提言があればできるだけ早く行ってほしい由、発言があった。

(3)SPC報告(伊藤)

6/14-17、横浜でSPCが開催され、いくつかの掘削提案がランキングされた(未公開)。このほか

ECORDがcontributing memberになったこと、中国がassociate memberになったこと、NSFが04-05年度にもう2航海追加で確保する可能性があること、等が示された。またSAS構造の議論において、オペレーションベースのものはIODP-MIに移すべきであること、またTAP/ILPを見直すべきだという意見が提出された。コア保管については、原則「Geographical model」とすることが確認された。

#### (4)ILP報告(青木)

2004年2月にヒューストンで行われた第2回ILPについて、代理出席した青木氏から説明があった。ILPではランキングを行わないことが確認された。またIODPゆえの問題(漁業権等)があることが認識された。青木氏から、地震探査データのメタデータベースの例として、サイクル機構で作成したものが提示された。

#### (5)その他

孔内計測WG(2004.3.8、京都大学)報告(木下)

DHT(孔内計測機器)+CORKワークショップ(2004.5.24-26、DC)報告(木下)

「科学者と掘削技術者の相互理解と将来」(2004.6.3-5、修善寺)の成果

上記の報告中、佐野部会員から、「旧 篠原WG長による中間報告書に応力測定的项目がないので、今回作成にあたって入れてほしい」由、要望があった。これを含めて、中間報告書を各部会員に配布し、内容を検討してもらうこととした。

### [審議事項]

#### (1)TAP会議事前打ち合わせ(増田)

6・29 - 7・1に長崎で開催予定のTAP会議の事前打ち合わせを実施した。Agendaについて増田共同議長より説明が行われた。その中で、新規メンバーがいるので今回は自己紹介を専門分野等を含めてやや詳しく実施したい、との要請がなされ、出席委員(新井、鎌田、中田、手塚)は各自の専門分野に立脚して、可能であればIODPでの現状と提案等についてのプレゼンを行うこととした。また、議題の一つである「Technical challenge」項目の評価について、日本から他の項目を追加してほしいとの要請がなされた。これを受けて、各部会員に対し、項目を提案することが要請された。

このほか、TAPのあり方についての議論を行った。その中で、以下の議論が行われた：

TAPがアドバイスするのはISPに対してなのか、proposalに対してなのか、はっきりしない。

長期的な技術開発要素(例えばVertical Drilling System)をPOCで出せないのか。

Proposalがランキングされたあとの実行段階での、TAPからのフォローアップは必要ないのか。

掘削のテクニカルレビューはどこで行うのか。ODPではTEDCOMで行っていた。

Project Scoping Groupの在り方がよく分からない(南海PSGで議論されるであろう)・TAPからのメンバーが入っているべきだ？

Legacy Studyをどうするか。

長期孔内計測技術は、応力測定技術を含めてSciMPのWGにて議論することになりそうである。

#### (2)ILPのaction itemsおよびILPのあり方について

今回は詳細な議論は行われず、次回、あるいはメールでの議論に持ち越された。

次回の開催は追って連絡することとした。